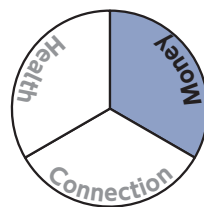


向こう1年間の市場見通し (3月11日時点)



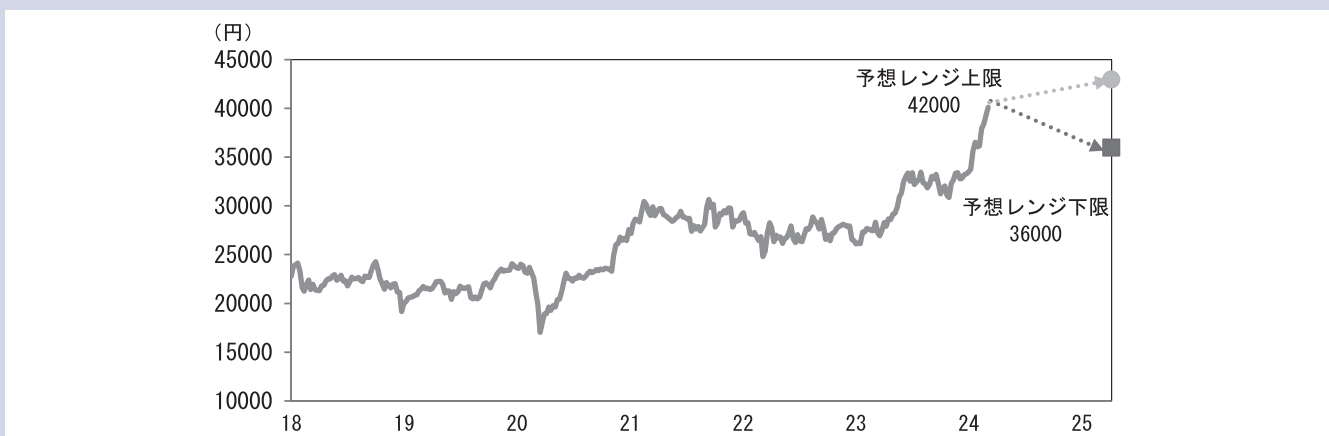
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一 (ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株は企業業績の拡大、積極的な株主還元を背景に底堅い推移を予想する。米国の利下げが近づく中、海外株の下落圧力も弱っており、最高値更新もあり得る。もっとも、米長期金利が高止まりすることで世界的に株式の(債券に対する)相対的な魅力が低下する可能性に注意が必要。
ドル円	米国のインフレ圧力はなお残存しているが、FRBの利下げが織り込まれつつある。日米金利差縮小を見込むドル売り・円買いは現時点で限定的だが、利下げ開始が現実味を増せば、円高方向への推移が予想される。日銀の緩和修正が一定の円高圧力を生じさせる可能性もある。
金利	日銀は賃金上昇率を見極めた上で、4月にマイナス金利解除に踏み切ると予想する(3月にそれがあっても不思議ではない)。もっとも、賃金上昇率は日銀の物価目標を上振れ方向に脅かすほど強くない。現時点で追加的な利上げの可能性は低いと判断する。

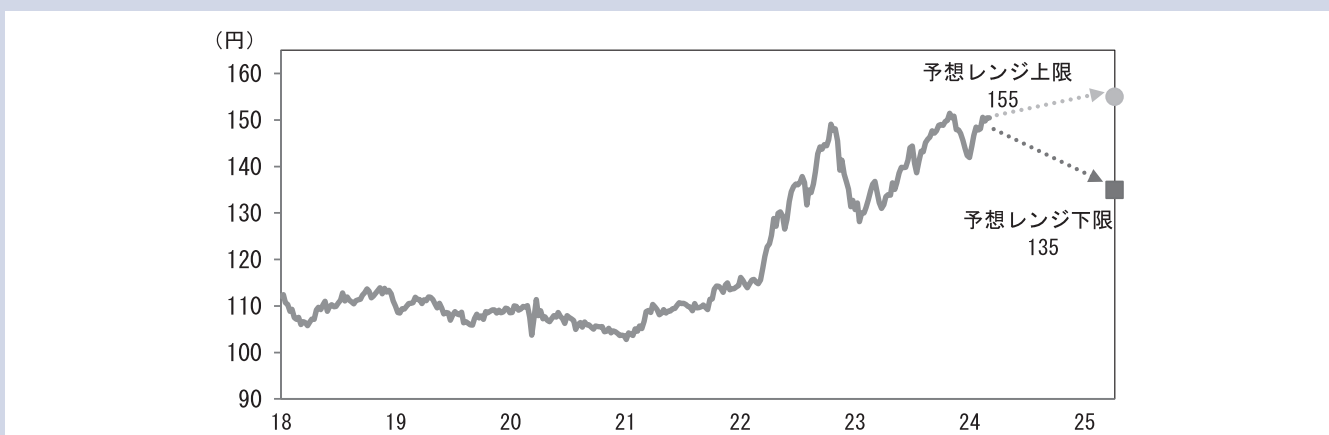
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成

向こう1年間のドル円相場



(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成